

2025年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名	保育実習Ⅱ（保育所）		教員氏名	久保小枝子/松浦浩樹/星早織/中野陽子/ 中安恒太/八代陽子/前島麻衣/中山恭一 吉田久仁子/矢野由佳子/杉田美香/大下聖治 横川剛毅/松山洋平/山本美貴子/武石宣子/今村愛喜	
科目ナンバー	Ⅳ-8・9・10-1-3				
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	実習		単位数	2単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	—	—
テーマ	・今までの実習経験を活かしつつ、保育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育者を志す者としての自身の課題に向き合う。				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			○
授業の概要	・保育士資格取得にかかわる保育士課程の選択必修の実習を行う。 ・「保育実習Ⅰ」をふまえ、参加・指導実習を中心とした、より専門性の高い実習を行う。				
授業の 到達目標	(1)乳幼児の理解を深め、保育士の援助や役割について説明できる。 (2)実習園の保育の計画を知り、どのような方法や内容で実際の保育に活かされているか説明できる。 (3)家庭支援等を含めた多様な保育所の機能や社会的役割とその意味を説明できる。 (4)乳幼児保育について考え、子どもの最善の利益にかんがみた乳幼児観・保育観に基づいて実践できる。				
テキスト	『実習ルールブック』（和泉短期大学） 『事前・事後学習のポイントを理解！保育所・施設・幼稚園実習ステップブック』（みらい）				
参考書	『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』（厚生労働省）『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（内閣府・文部科学省・厚生労働省）『保育・福祉小六法』（みらい）				
ポートフォリオ	・実習指導授業内で示されたワークシートについて取り組みポートフォリオに綴じること。				
往還型授業 （双方向授業）	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT（Google Classroom含む）を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他：				
成績評価方法	区分	割合（％）	内容		
	定期試験		実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100％	①実習登録手続きに関する状況 ②事前の書類（細菌検査・オリエンテーション報告書等）提出の状況 ③実習中の状況（巡回指導時の状況も含む） ④実習への出席状況 ⑤実習先からの実習評価 ⑥実習の記録（日誌）の提出、事後に必要な書類提出（欠席届等）の状況 ⑦実習の記録（日誌）の記述内容を総合的に評価する。		
	その他		なし		